

iC5700

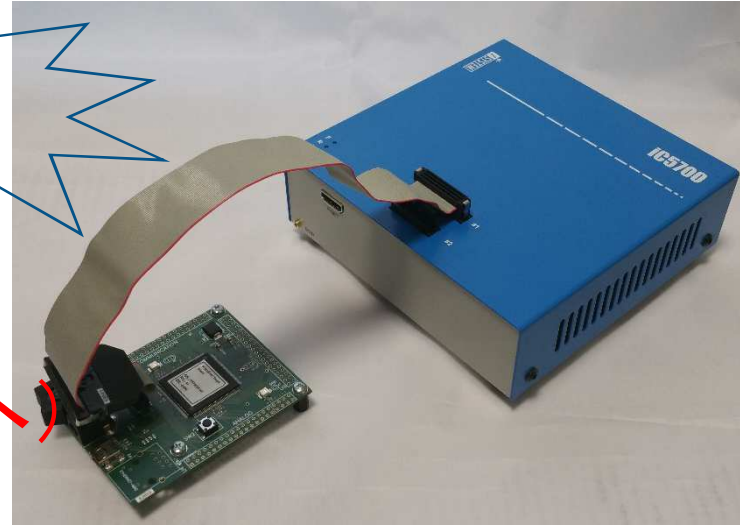


**Enabling safer
embedded systems**

ポジティブワン株式会社
www.positive-one.com

iC5700

発売中!

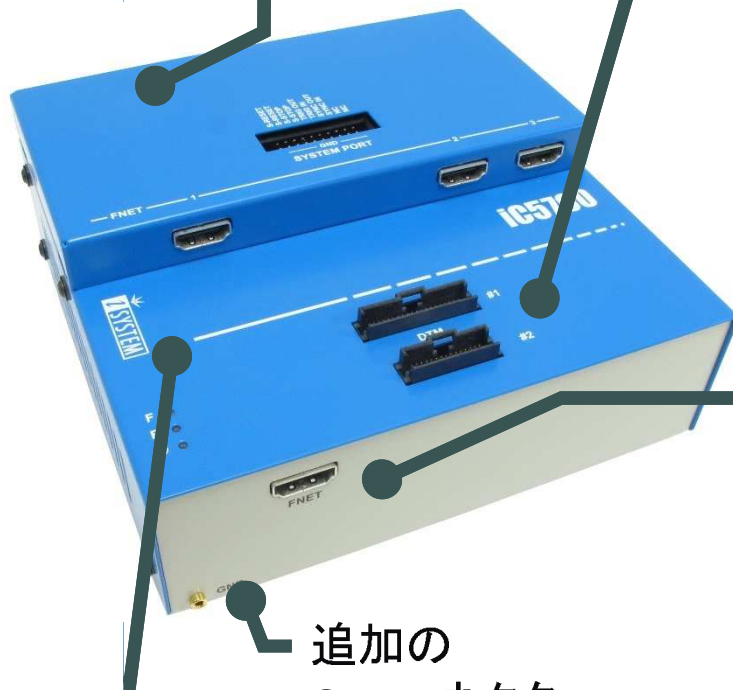


- iC5500の後継機
(**今後はiC5500販売中止へ**)
 - ネットワーク測定やトレース／プロファイリングのためのiSYSTEMアドオン製品 (IOM6 + AOMs)を接続可能
 - アクティブ・プローブ (AP - **2017年に新発売**)を接続可能
- スライド11

iC5700 + IOM6-Hub

Q4/2016
発売

IOM6-Hub (オプション)



iC5700

追加の
GNDコネクタ

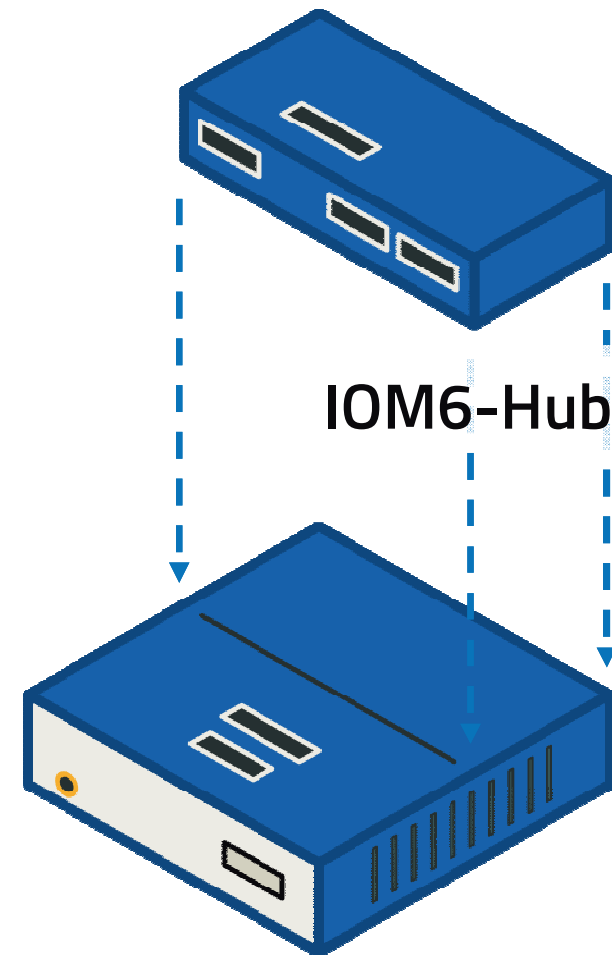
- 全ての標準iC5000/iC5500 デバッグ及びトレースアダプタを接続するためのDTMコネクタ
- デバッグ、トレース等のためのソフトウェアライセンスは変わらず

!!!NEW!!! 追加のアドオンモジュール
(Add-On-Modules (AOMs)) を接続する
ための FNET*コネクタ

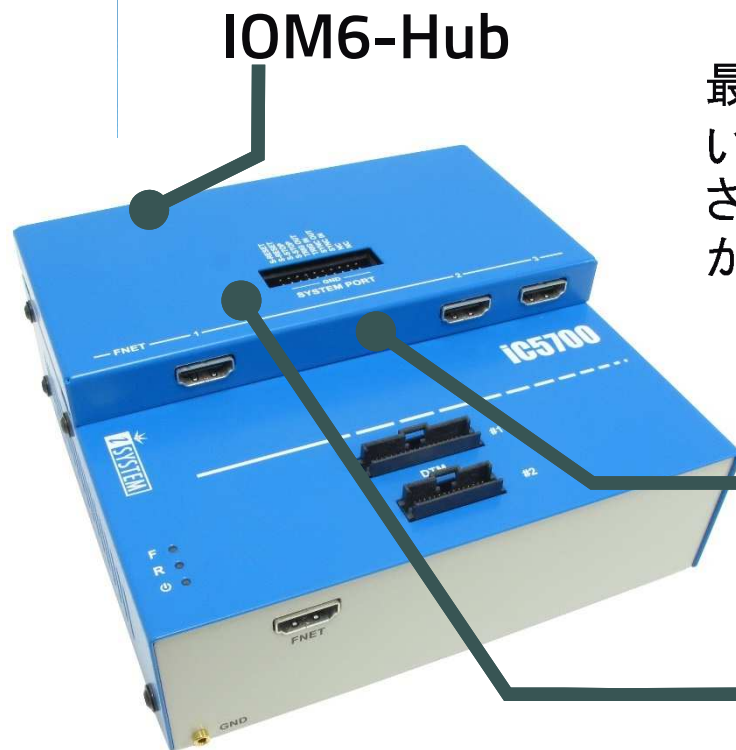
* FNETは専用の、帯域幅が最大で2x 10Gbps (iC5700のFNETコネクタ上の10Gbps全て、IOM6-Hub上の最大3分割される10Gbps) の内部BlueBoxバスです。HDMIケーブルとHDMIコネクタは堅牢な高速データ転送のために設計されているため、FNETはHDMIケーブルとHDMIコネクタを使用します。しかし、電気信号はHDMI対応ではなく、blueboxをTVやグラフィックカードへ挿入してはいけません。さらに、確実な動作を保証するために、iSYSTEMによって認められたケーブルのみが使われるべきです。TVと一緒に使用可能な市販ケーブルのほとんどは、最高速度で確実にデータ転送することができません。

IOM6-Hub

- 初期購入時、iSYSTEMはIOM6-Hubを搭載します。
- お客様はご自身の物をアップグレードすることも可能。このために、IOM6-Hubに加えて、iC5700のための新しい筐体を提供されています。



IOM6-Hub (仕様)



最新のIOM6 BlueBox Accessoriesはいくつかのサブモジュールから構成されています。まず初めは、iC5700がホストとなり得るIOM6-Hub。

AOMs又はApsのための追加のFNETコネクタ

システムポート。複数のBlueBoxユニットが単独のマスターBlueBoxによって制御されることを可能とする同期機能をIOM6-Hubは提供します。(Q2/2017)

CAN/LIN アドオンモジュール

- CANバスとLINバスのデータ取り込み
- CANデータとCAN-FDデータ対応
- 取り込まれたデータは、取り込まれたマイクロコントローラのトレースデータと同期される
- iC5700のFNETポート、又はIOM6-Hubの3つのFNETポートの中の1つ、のいずれかに接続可能

*アナライザソフトウェア・ライセンス必要 (13ページ参照)



CAN用Q4/2016発売。
LIN用Q1/2017、
CAN FD用 Q2/2017
に追って発売。

CAN/LIN アドオンモジュール



CAN/LIN アドオンモジュール(仕様)

仕様

CAN チャンネル

2x MCP2562FD (ガルバニック絶縁)

LIN チャンネル

2x TJA1027 (ガルバニック絶縁)

消費電力

約2W

寸法(縦 x 横 x 高さ)

約100 mm x 125 mm x 55 mm

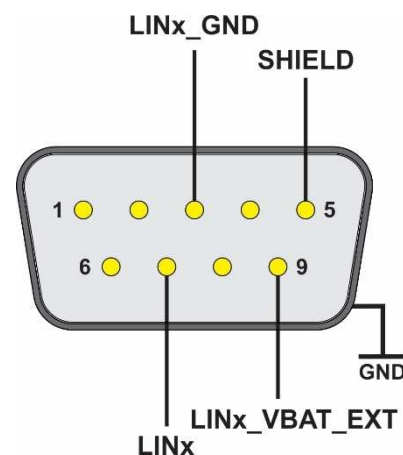
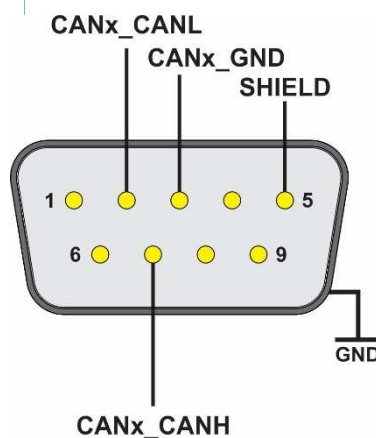
CAN-FD (Q2/2017)

ISOとnon-ISO

FNETケーブル長

最長5m

ピン配列



ADIO アドオンモジュール



- IOM2とIOM5に似ているが、iC5700ベースユニット上に直接ホストされない。代わりにFNETポートへ接続される。
- デジタル入力/出力
- アナログ入力/出力
- iC5700のFNETポート、又はIOM6-Hubの3つのFNETポートの中の1つ、のいずれかへ接続可能

Q4/2016発売
(写真準備中!!!)

*アナライザソフトウェア・ライセンス必要
(13ページ参照)

ADIO アドオンモジュール(仕様)

仕様

I/O Channels	4x 8-bit I/O 電圧範囲: TBD (2オプション: 3V3トレラント・バンク – 1V66 to 3V6、5Vトレラント・バンク– 1V66 to 5V4)
速度:	TBD (3V3トレラント・バンク 100MHz、 5Vトレラント・バンク 20MHz)
DAC	2x 12-bit、セトリング時間: 0.2us、±5V
ADC	2x 12-bit、帯域幅最大20MHz、±5V
消費電力	約3W
寸法 (縦 x 横 x 高さ)	約100 mm x 125 mm x 55 mm

 旧iSYSTEM IOモジュール IOM2、IOM5との違い

アクティブ・プローブ (AP)

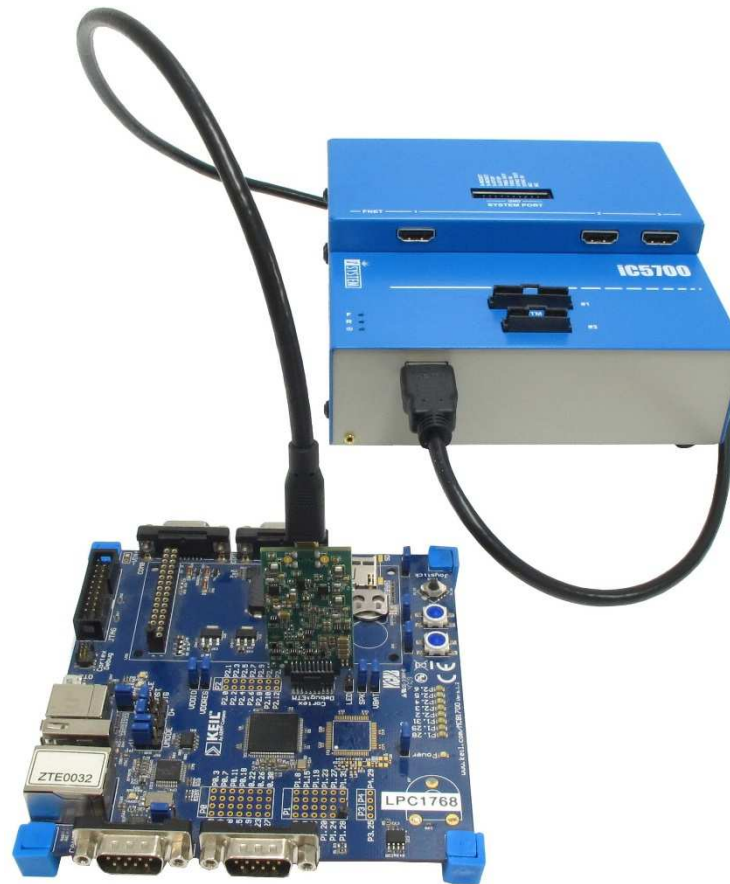


- プローブ内のインタフェース特定ロジックをデバッグ
- micro-HDMIコネクタを使用した小さい占有面積
- ECU筐体内部への搭載可能
- 可能な限り高い帯域幅での高速アクセス
- 高速MCU同期
- ターゲットへ出来る限り近く
- FNETケーブル最長5m

AURIX DAP2用
Q4/2016発売。続いて
その他のAPは
Q2/2017に発売予定。

*アナライザソフトウェア・ライセンス必要 (13ページ参照)

アクティブ・プローブ (AP)



アナライザソフトウェア・ライセンス

- AOMによって取得したデータを可視化するために（例えばCANデータとのトレース相関）、新しいアナライザソフトウェア・ライセンスを申請します。
- このライセンスは、Q2/2017まで入手できません。
- その間は、アナライザのベータ版ビルドがwinIDEAと共に発送されます。
- **さらなる情報が続きます**

比較マトリックス

	iC5000	iC5700	iC6000
デバッグ対応	All	All	AURIX™, Power Architecture®
トレース対応	Nexus, ETM, ...	Nexus, ETM, ...	Aurora
ホスト I/F	USB 2.0, Ethernet	USB 3.0, Ethernet	USB 3.0, Ethernet
キャプチャ帯域幅	400MB/s	1200MB/s	3800MB/s
トレースバッファサイズ	256MB	1GB	8GB
トレースチャネル	16	16(32*)	16
IOM	IOM2	IOM6	IOM5
アクティブ・プローブ	No	Yes	No

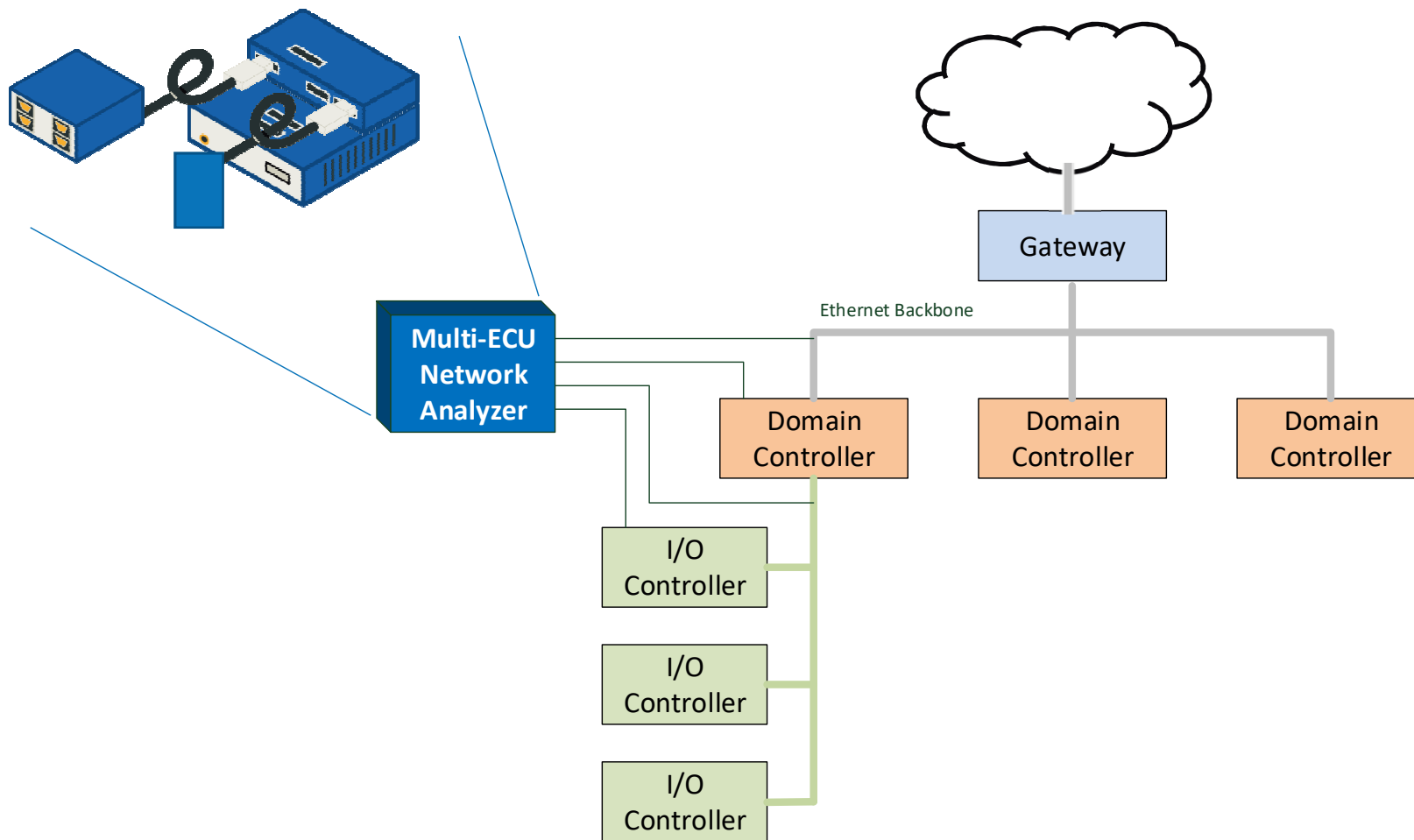
*アクティブ・プローブ経由のみ。要求により実装。

IOM6 – エンドユーザ価格

• iC5700 Base:	EUR 3.150
• iOM6-Hub:	EUR 990
• CAN/LIN-AOM	EUR 1.990
• ADIO-AOM	EUR 1.990
• **CAN FD Protocol License	EUR 990
• Maintenance Base Unit	EUR 440
• Maintenance AOM	t.b.d

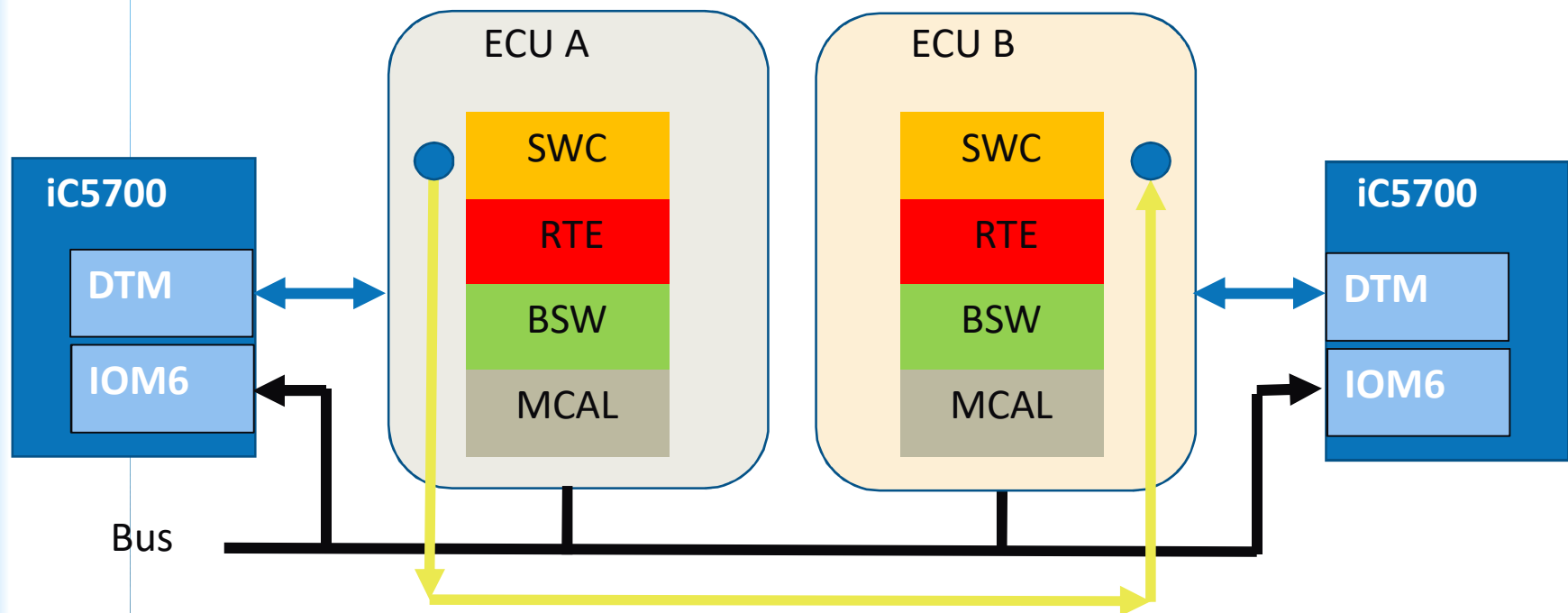
** CANやLIN等の基本的な機能は無料で提供されます。追加のプロトコルは個別に認可されなくてはなりません。今後、さらなるライセンスを申請するかもしれません、例えばADIO用に可能性のあるライセンスはi2C、SPとなります。

将来可能なユースケース



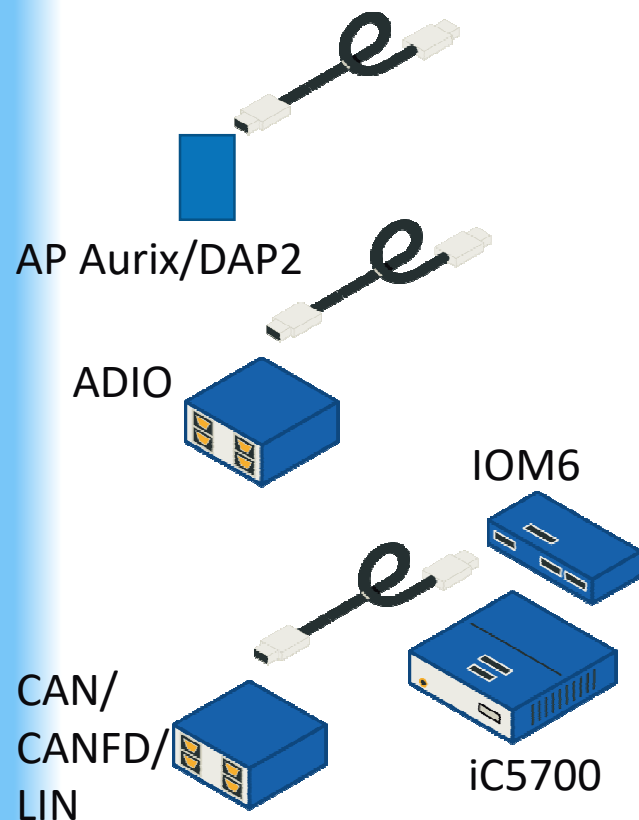
将来可能なユースケース

例：ネットワーク／マルチ-ECUトレース、エンドツーエンド
応答時間解析

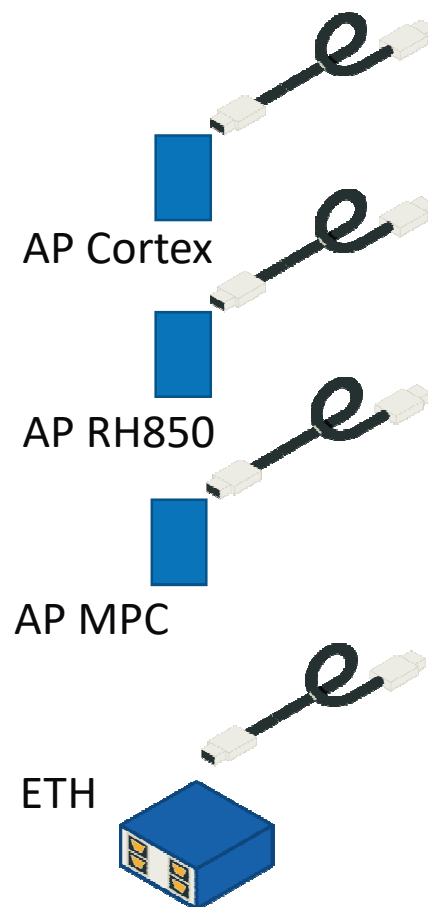


ロードマップ iC5700 – ハードウェアのアドオン

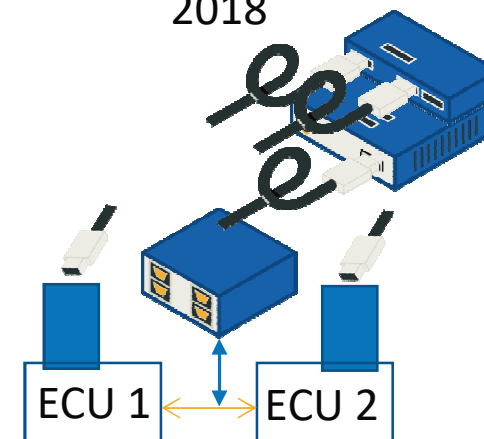
2016



2017



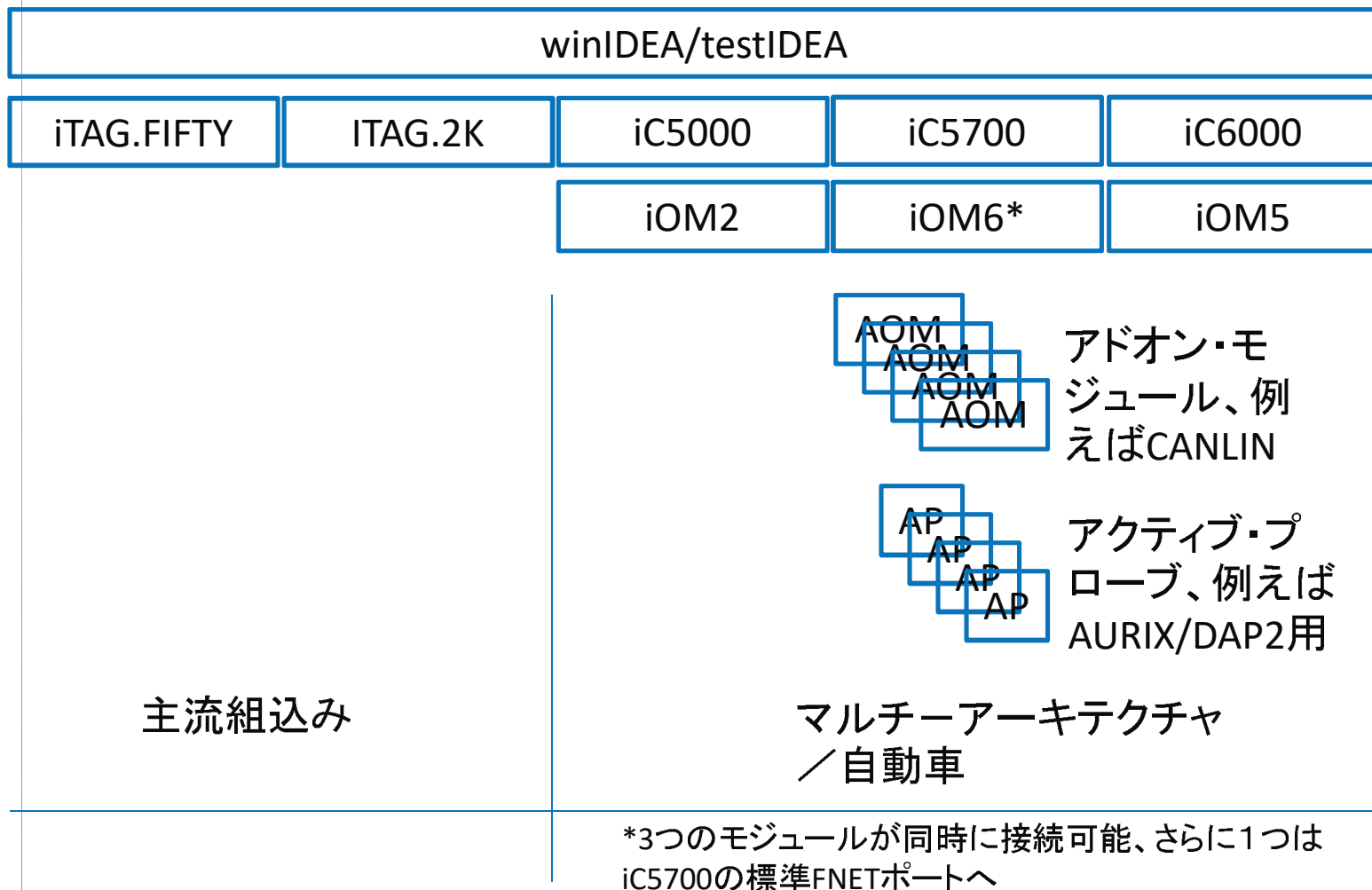
2018



マルチECU デバッグ／トレース／シンク:

- ラボの中や、車の中でさえも、MCUと幾つかのECU上のバス・アクティビティを記録するためのAOMとAPをホスティングする iC5700

製品ポートフォリオの概要



購入・技術 問い合わせ

ポジティブワン株式会社

03-3256-3933

www.positive-one.com

[poc_sales\(a\)positive-one.com](mailto:poc_sales(a)positive-one.com)

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-12-1渋谷マークシティ・ウエスト22F

〒651-0087 兵庫県神戸市中央区御幸通8-1-6神戸国際会館 22F

